

2018年9月13日  
社会福祉法人ゆうゆう

平成30年北海道胆振東部地震 情報共有会議

提出資料

1. 震災初動期における物資提供の状況
2. 震災初動期における道外関連法人との連携状況
3. 厚真町及び安平町を中心とした活動記録・調査要約
4. 厚真町及び安平町にて聴取できた事例

以上

◎震災初動期における物資提供の状況

出発日	供給先	品名	詳細	個数	単位	備考	
9月7日	札幌市内	生活用水					
	小樽市内	生活用水					
9月8日	小樽市内	屋食(炊き出し)	白米、野菜スーズ	80	食	* 9月11日(火)まで継続的に屋食提供。 * 1回あたり290食×数日分を供給	
	白老町内	食材	野菜類 白米	100	kg		
9月9日	新ひだか町 札幌市内	照明器具					
		乾電池					
		発電機			2	台	
		フルーツ採缶詰			1	箱	
		アケエリマス			2	箱	
		トイレ掃除セット	ブラシ、洗剤、便箋ふき		6	セット	
		ビーワンチュー			3	箱	
		チキンチュー			2	箱	
		ウエットシート			3	箱	
		はみがきシート			3	箱	
		あかちゃんおしりふき			2	箱	
		水	1.5*12		3	箱	
9月10日	安平町 良セツター	マスク					
		子ども用			4	箱	
		アテント 体ふきシート			3	個	
		TOHO ガスコンロ			4	箱	
		TOHO ガスボンベ			10	台	
		トイレレットペーパー	48ロール入り		3	箱	
		サラシラッグ			1	箱	
		アテント 体ふきシート			2	本	
		ドラインヤンナー			7	本	
		携帯トイレ	8個入り		1	パック	
		水			3	箱	
			花園若草会館	カッパマン			
カローメール							
スーズ類							
ごはん							
レトルトカレー							
ムーニーおしりふき					5	箱	
簡易トイレ					1	箱	
5年保存水							
発電機					1	機	
懐中電灯					5	個	
電池 単一					1	箱	
ホカリウーズ みそ汁	24缶入り				7	箱	
尾西 けんちん汁セット			6	箱			
サシカルマスク	30食分		1	箱			
9月11日	追分公民館	わかめ御飯					
		アルファー食品 わかめ御飯			1	箱	
		炊き出しセット			1	箱	
		きのこ御飯			1	箱	
		尾西 五目ごはん			1	箱	
		災害用 五目ごはん			1	箱	
		おかしセット			1	箱	
		井村屋 ようかん			2	箱	
		ポテトチップス			2	箱	
		白かゆ			1	箱	
		フレミリーマート 除菌			3	個	
		リクアイン 99%除菌アルコール			3	袋	
詰め替え用アルコールタイズ			6	袋			
リクアイン 99%除菌アルコール			3	袋			
9月13日	安平町内	サラヤ 消毒液			1	箱	
		アケエリマス			2	箱	
		アレルギー対応 山菜おこわ			1	箱	
		ポテトチップスサラダ			48	食	
		ウインナーと野菜のスーズ煮			48	食	
		おでん缶			60	食	
		缶入りりんご			60	食	
		コーンスーズ			60	食	
		ミネストローネスーズ			60	食	
		ハンジキンスーズ			120	食	
		和風ハンバーガー			72	食	
		さば味噌煮缶詰め			72	食	
白飯			150	食			
尾西のミルクステンパックアレーン			60	食			

震災初動期における道外関連法人との連携状況

社会福祉法人ゆうゆう

		法人名	氏名	専門分野/資格	移動手段	7日(金)	8日(土)	9日(日)	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(金)
1	関東	福祉楽団	田中 秀明	社会福祉士2名 介護福祉士1名	トラック/フェリー									
2			阿部 恵祐											
3		愛川瞬寿会	馬場 将和											
4	九州	南高愛隣会	野中 憲一郎	介護福祉士2名 強度行動障害対応可	ハイエース(車いす可)/フェリー		夜間到着			夜 帰				
5			西村 聡				夜間到着		夜 帰路					
6	近畿	グロー ①	前田 由夫		2トン車1台		夜間到着		夜 帰路					
7			北川 紘久				夜間到着		夜 帰路					
8		グロー ②	高田 和	相談支援員	飛行機/レンタカー			終日			帰路			
9	四国	青い空	片岡	理学療法士	2トンダブルキャブ	出発 陸路							帰路	
10			小野山	職業指導員・大型自動車・牽引・ガス溶接・アーク溶接・小型車輛系建設機械・フォークリフト免許		出発 陸路								帰路
11	中部	八ヶ岳名水会	仁田坂	社会福祉士/介護福祉士	車(新潟経由)			4:30 小樽着			夕方 帰路			
12		さかき会	曾田					4:30 小樽着			夕方 帰路			
13	東北	ハックの家	城内		車			到着						帰路

◎聴取できた事例

2018/09/13  
社会福祉法人ゆうゆう

9月8日（土）厚真町	厚真小学校	保健師ヒアリング	<p>・避難所で過ごせない自閉症児のレスパイトニーズ</p> <p>小4の自閉症児。避難所で過ごせない。学校が再開していないため、過ごしが見通しが立てられない。</p>
	厚真町	福祉センターゆくり	<p>・避難所の高齢者の転倒事例が2件発生している。</p> <p>通常は通所デイに通うようなレベルの方たち。通所デイの再開は未定。</p> <p>床からの立ち上がりや、トイレへの移動に困難がある方2名が転倒。</p>
9月10日（月）安平町	花園若草会館		<p>・パニック障害2名（20代、40代）</p> <p>20代の方と、40代の障がい者が、避難所でパニック障害になる。病院受診を奨励している。</p> <p>40代の障がい者に関しては、行動がかなり不安定で、屋内での生活に不安があり、落ち着きがなくなる。あるいは身体の振戦。</p> <p>震災から10日現在まで、夜は屋外のテントや車の中で仮眠をとるような状況。</p> <p>（⇨避難所の夜勤体制：夜間職員1～2名）</p>
9月11日（火）安平町	追分公民館	町民ヒアリング	<p>・腹膜透析の事例を確認</p> <p>14年前から追分に移住している夫婦。夫が心臓バイパス手術歴あり。腹膜透析中。腹膜透析用の透析液及びパッドの供給輸送が停止している。自宅は半倒壊。千歳の知人のキャンピングカーを借りて、自宅庭に設置し、その中で1日4回の透析をしている。夫の職場は苫小牧で、職場では、職員や顧客へ迷惑をかける、という意識から、職場内での透析は困難。大型犬2頭を飼っており、避難所での透析も夫が拒否。</p>
	安平町	苫小牧地域生活拠点センターへの電話ヒアリング	<p>・安平町在住の高次脳機能障害者</p> <p>67歳男性。町営住宅から避難所へ避難してきている。兄と二人暮らしで、兄は呼吸器疾患で苫小牧の病院に入院中。落ち着きが無くなってきている。兄のところへお見舞いに行きたいと言い始めている。</p>
9月12日（水）安平町	青葉会館		<p>・炊き出し後、「徐々に子供たちが笑った」との町民のコメント</p> <p>⇒子どもに避難生活のストレスがかかっていたと思われる。何らかの早期支援の必要性。</p> <p>うどん炊き出しをした際に、子供たちの笑顔が久々に見られた、とのことだが、食べ盛りの小中高生からのおかわりの要望なども無く、自粛、遠慮している場面が多々見受けられた。</p> <p>子どもの精神的ストレスに対する配慮、支援の不足の可能性はある。</p>
9月12日（水）安平町	青葉会館	公民館副館長へのヒアリング	<p>・94歳の高齢女性について、被災時に近隣住民が救出し、ケアしていた。</p> <p>被災直後、72歳男性が近隣に住んでいる94歳の高齢者の自宅に安否確認を実施。</p> <p>94歳女性は、半倒壊した家の一室で呆然と座っており、72歳男性が救出。</p> <p>94歳女性の息子は苫小牧の職場で夜勤中だった。震災後、当日の食事やケアを72歳男性が担っていた。</p>